

入札参加資格確認資料作成要領

1 工事概要

- (1) 工 事 名 大月短期大学新校舎建設工事
- (2) 工事場所 大月市御太刀一丁目 1 6 番 2 号

2 入札参加資格確認資料の構成

一般競争入札公告 2 (1) (2) (3) (5) に掲げた入札参加資格を有することを証明するため次の資料を作成提出すること。

- (1) 代表構成員の施工実績 (様式第 2 号－1)
- (2) 構成員 (B 群) の施工実績 (様式第 2 号－2)
- (3) 構成員 (C 群) の施工実績 (様式第 2 号－3)
- (4) 配置予定技術者の資格・施工従事経験 (様式第 3 号－1)

3 入札参加資格確認資料作成要領

(1) 代表構成員の施工実績 (様式第 2 号－1) に記載する実績

ア 平成 1 8 年 4 月 1 日以降に完成、引渡済みであって、工事請負額が 4 億円以上の建築工事とする。

イ 元請として請負った工事の中からアに示す建築工事の施工実績を記載すること。但し、共同企業体の構成員として出資比率が 5 0 % 以上の場合を含む。

ウ 発注機関の順位は先ず国機関、都道府県、政令指定都市、公団、市町村から請負った工事施工実績があれば、その実績を記載すること。これが無い場合、公営企業等、事業団等、民間等の工事施工実績を記載すること。

エ ア～ウに該当する工事施工実績が複数ある場合は、先ず、大月市内における工事施工実績を記載すること。これがない場合は、山梨県における工事施工実績を記載すること。又、施工場所は、市町村名から大字名まで記載すること。

オ 内容は、工事名、発注機関名、施工場所等のほか、工事諸元等（構造形式、規模、寸法、基礎形式、主要資材、設計条件等）を記載すること。

(2) 構成員 (B 群) の施工実績 (様式第 2 号－2) に記載する実績

ア 平成 1 8 年 4 月 1 日以降に完成、引渡済みであって、国又は地方公共団体等が発注した工事請負額が 1 億円以上の建築工事とする。

イ (1) イと同じ。

ウ 発注機関の順位は先ず国機関、都道府県、政令指定都市、公団、市町村から請負った工事施工実績があれば、その実績を記載すること。これが無い場合、公営企業等、事業団等の工事施工実績を記載すること。

エ (1) エと同じ。

オ (1) オと同じ。

(3) 構成員 (C 群) の施工実績 (様式第 2 号－3) に記載する実績

ア 平成 1 8 年 4 月 1 日以降に完成、引渡済みであって大月市長が発注した建築工事とする。

イ 元請として請負った工事の中からアに示す建築工事の施工実績を記載すること。

ウ 発注機関は対象とする工事の契約相手方名を記載すること。

エ ア、イで示した条件に該当する工事施工実績が複数ある場合は、契約金額が大きい

工事施工実績を記載すること。又、施工場所は、市町村名から記載すること。

オ 内容は、工事名、発注機関名、施工場所等を記載すること。

(4) 配置予定技術者の資格・施工従事経験 (様式第3号-1)

配置予定の技術者については、一級建築施工管理技士又は同等以上の資格を有し、平成18年4月1日以降に監理技術者又は主任技術者として施工に従事した経験を有する技術者を配置すること。その工事の施工に従事した経験を記載すること。

注1：配置予定技術者は、企業体として一級建築施工管理技士等1名を配置すること。

注2：配置予定技術者の一級建築技術検定合格証明書（写し）等を技術資料様式3-1の添付資料として提出すること。

(5) 過去の工事の施工実績を証明するための契約書等の添付

ア 代表構成員、構成員(B群)及び構成員(C群)の施工実績を証明するための添付資料として、当該工事の契約書、工事契約用設計書表紙及び本工事費内訳書（以下「契約書等」という。）の写しを添付すること。

イ 過去の工事の施工実績を証明するための契約書等の写しがない場合で、工事实績情報システム（以下「CORINS」という。）へ登録してある場合は、当方にて別途調査し、確認することとするので実績として記載してもよい。

ウ 配置予定技術者の資格・施工従事経験については、その技術者が過去、他社においての経験も当該工事の契約書等の写しにより確認可能な経験、あるいはCORINSに登録済みであり、当方にて確認可能な経験は、経験として認めるので記載してもよい。

エ 契約書の写しもなくCORINSにも未登録の実績については、実績として認めないので記載しないこと。

(6) 入札参加資格確認資料の提出部数

企業体で、各様式とも1部提出すること。